

## 旧国立競技場の炬火台について

独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC：JAPAN SPORT COUNCIL 理事長：大東 和美）が所有する旧国立競技場の炬火台（1964年東京大会の聖火台）は、これまで宮城県石巻市、岩手県、福島県及び埼玉県川口市へ貸出をしておりましたが、令和2年6月9日（火）に新しい国立競技場の敷地内（青山門・東側Gゲート正面）に搬入されました。

本日より、搬入された炬火台の設置・検査等の作業を行ってまいります。（6月末を目途に設置完了）



### （参考）旧国立競技場の炬火台概要

- ・ 所有：独立行政法人日本スポーツ振興センター
- ・ 高さ：2.1m 最大直径：2.1m
- ・ 埼玉県川口市の川口内燃機鋳造所が製造主体となり、名工・鈴木万之助が製造作業を実施したが、溶けた鋳鉄を流し込む作業で鋳型が大破して失敗し、万之助は数日後に他界。その息子たちが引き継いで1958年に完成・設置された。